

会議録

◇詳細—企画調整グループ 電話03-4566-2511

附属機関又は 会議体の名称	令和2年度 第2回総合教育会議	
事務局(担当課)	政策経営部企画課	
開催日時	令和3年3月26日(金) 13時00分～14時00分	
開催場所	教育委員会室(本庁舎8階)	
案件	1. 令和3年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策	
公開の可否	会議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員	高野区長、金子教育長、樋口教育長職務代理者、村瀬委員、大澤委員 (欠席:酒井委員)
	事務局	政策経営部長、教育部長、企画課長、庶務課長、教育施策推進担当課長、 学務課長、放課後対策課長、学校施設課長、指導課長、教育センター所長、 統括指導主事 企画課担当、庶務課担当

○企画課長

これより令和2年度第2回豊島区総合教育会議を始めさせていただきます。

本日の傍聴者は0名です。

今回は密を避けるために、一部の事務局職員は、別室に待機し、オンラインで参加しております。それでは、総合教育会議の委員をご紹介します。なお、酒井委員は本日は欠席でございます。

<委員を順次紹介>

○企画課長

それでは、議事進行につきましては、会長でございます高野区長にお願いいたします。

○高野区長

各委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中にも関わらず、会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。

国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから、はや1年が経過しておりますが、終息には程遠い状況であり、第4波になるのではないかとこの報道もございます。本日も午前中にコロナ対策本部会議を開催し、ワクチン接種等について検討を進めております。豊島区は「豊島区方式」という形で、スムーズにワクチン接種を進められるよう、きめの細かい取り組みをしているところであります。

学校教育におかれましても、コロナ禍においても児童生徒が安全に安心して学校生活を送れるよう、「学校の新しい生活様式」を踏まえ、現場の先生方には大変ご負担をおかけしているところでございます。子供たちは、大人以上に新しい生活様式でのルールをしっかり守っており、これまでのところ、学校内での感染は1件も起きていないと聞いております。大変素晴らしいことです。これも教育委員会をはじめ教育現場の皆様が一生懸命対応していただいているおかげではないかと思えます。

またこのような中で、今年度は小中学校の宿泊を伴う移動教室あるいは就学旅行について、中止や変更を余儀なくされている状況でした。しかし、先週卒業を迎えた中学3年生におきましては、「東京ディズニーリゾート1泊旅行」が実現できたと聞いております。コロナ禍において一泊旅行を実施するという決断は、批判も伴うことだと思いますが、子供たちにとっては、本当に思い出に残る素晴らしい出来事だったと思っております。ひとえに、教育委員の方々をはじめ教職員皆様のご苦勞があつてのことと感謝を申し上げます。

区政におきましても、感染拡大防止と地域社会経済活動を両立するための「新型コロナウイルス対策」を次年度の重要なテーマの一つとして、「新しい日常」を見据えた区政運営を進めて参ります。今後も様々な形で区と教育委員会が協力して各種の施策を進めて参りますので、教育委員の皆様におかれましても、さらなるご協力を頂きますようお願いいたします。

先般の総合教育会議の中で、豊島区は昨年7月、SDGsの認証をいただいたことについてご報告させていただき、その際に学校等々でもSDGsへの取り組みを積極的に進められていると聞きました。コロナ禍にあっても豊島区は前向きに、そして誰一人取り残さないというSDGsの目標に向けて、オール豊島で取り組んで参りたいと思います。

さて、総合教育会議は、区長部局と教育委員会が教育施策に関して協議・調整をする場として、「教育都市としま」の実現に向けて、これまでも様々な議論を交わしてきました。次世代を担う子供たちが、変化の激しい21世紀をたくましく生き抜くことが出来るよう、区長部局と教育委員会がこれまで以上に緊密な連携をとって教育施策の充実を図っていくことが大切でありますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本日の議題は、

1. 令和3年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策
でございます。

教育委員会における重点施策を担当の課長からご説明頂きまして、その後に教育委員の皆様からお一人ずつご意見を頂ければと存じますので、よろしくお願いいたします。

では、令和3年度の重点施策について、庶務課長から順番にお願いします。

○各課長

それでは「**令和3年度 区長部局と教育委員会が連携して取り組む重点施策**」につきましてご説明いたします。 ※各項目は（）内の各課長より説明

- ・学校教育の質の向上に向けたICT環境整備とICT活用（庶務課長）
- ・学校教育の質の向上に向けたICT活用（指導課長）
- ・認定こども園の設置検討（教育施策推進担当課長）
- ・SDGsの推進について（庶務課長・指導課長）

○高野区長

ありがとうございました。議題の資料説明が終わりました。

只今の事務局からの報告に関わらず教育委員の皆様からそれぞれのご意見を頂きたいと思えます。遠慮なくご発言をお願いいたします。

○村瀬委員

本日はこのようなお時間をいただきありがとうございます。

先程のお話にもありましたが、タブレット PC について、小中学校の児童生徒は毎日使用していて、すごく使い慣れてきたと授業を見ていても思えます。先生方にはクラスに 1 台タブレット PC がありますが、生徒は学ぶスピードがすごく早いため、それに合わせて先生のスキルもどんどん上げていく必要があると思えます。先生方も自分用のものがないと大変だと仰っていたので、ぜひ先生方にも一人 1 台のタブレット PC を持っていただき、技術を上げてもらって活用してもらいたいと期待しております。

先日、ディズニーランドに生徒たちが修学旅行で行ってきまして、生徒も親も本当に楽しんだ様子でした。密を避けるために 1 部屋を 2 人や 3 人で使用するなど、完全にコロナ対策をしたうえで行った修学旅行でした。生徒たちはこの旅行を楽しみに、みんなで受験を頑張ろうという気持ちで勉強していました。修学旅行をやるかやらないかの決断をする時には、正直迷ったのですが、保護者からも、「本当にいい思い出になった。嬉しいという顔でみんな帰ってきました。」と報告を受けていますので、この場でお伝えいたします。ありがとうございます。

○高野区長

続きまして、大澤委員よりお願いいたします。

○大澤委員

初めて出席させていただきました大澤でございます。事務局の皆様は会議の開催にあたり、大変ご苦勞されて準備いただき、大変だったと思えます。ありがとうございます。

タブレット PC を子供たちに一人 1 台、先生方には数人に 1 台配布しているということですが、今後デジタルで授業をする際に、子供たちの顔が見えないと、授業の内容を理解しているのかしていないのかの判断が非常に難しいと言っている方がいらっしゃいました。前提として、まずはタブレット PC を使いこなせるように習熟することが大事なのですが、時々子供たちの実物の顔を見てあげるといことも、難しいかもしれないですが、教育者としてはやらなければならないというところがあると思えます。以上でございます。

○高野区長

続きまして、本日は酒井委員が欠席でございますので樋口教育長職務代理者よりお願いいたします。

○樋口教育長職務代理者

よろしくをお願いいたします。樋口です。

まずは高野区長に御礼申し上げます。このコロナ禍が1年以上続く中で、予想しなかった課題が連日連夜高野区長のところにも届いて眠れない日々もおありになったのではないかと思います。本日はお元気な顔を拝見しまして安心しております。区民の一人として、またこの立場として御礼申し上げ、豊島区民が制限がある中でも安心して生活を営めることを大変うれしく思っております。HPを拝見しても、すぐに状況が分かるようになっており、また、そこからどこに飛べば詳しいことがわかるかということも分かりやすくなっております。今はHPが頼りですので、区の情報がすぐにタイムリーにわかるのは大変ありがたいと思っております。

そうした中で、今両委員からもお話がありましたとおり、児童生徒一人1台にタブレットPCを配置していただきましたこと、本当にありがとうございます。学びの質はどんどん変わっていくのではないかと大いに期待をしているところでございます。

またSDGsの推進につきまして、コロナ禍の中での推進はどうしたらいいのだろうかということについても、もしかしたら今後の参考になるような対応も多かったのではないかと思います。高野区長をはじめ区長部局の皆様にご心より御礼を申し上げます。

もう一つ御礼は教育長をはじめ部長、所管課長、全職員の皆様にごございます。こうして高野区長、区長部局と連携してタブレットを配置していただいて、さて、これを子供たちがどういうふうに使ったらいいのかということについてお悩みの多かったことと思うのですが、実際に使っているのですよね。健康管理にも使い、それから授業にも使い、その様子を見て保護者の方が安心なさっていると私は聞いています。運用するということのご苦勞を心から感謝申し上げますとともに、このタブレットだけでなく、安全安心のための様々な学校の問題があったと思います。家庭内感染はなかなか厳しいものがどこの地区にもある中で、豊島区は非常にしっかりとそれを考えておいでだったこともよく存じ上げております。

そして最後には学校の校長先生、園長先生はじめ教職員のみなさまに御礼を申し上げたいと思っております。子供を最前線で守ってくださるのは学校です。本当にご努力に頭が下がる思いでいっぱいでございます。私がまず冒頭に高野

区長、教育長はじめ全ての教育だけではない区民の生活に関わる皆様に御礼を申し上げたいと思います。今日一番に伝えたいのはこの感謝でございます。

では、本題に入らせていただきます。

1点目はICTの活用についてです。先程のお話のとおり、着々と準備をしてくださいましたので、ここからはさらに運用をどのようにしていこうかということであろうと思っております。先程のお話にもありましたが、教員の立場から申し上げますと、クラスに1台タブレットPCがあっても、例えば私が中学校の副担任だとすると自分用のものがないわけですね。そうすると私は国語の教員でしたから、国語の教材研究をしたくても担任の先生が使っていれば私は使うことを遠慮せざるを得ない。そうすると色々なことを勉強して授業のためにと考えてもどうしても難しいと思います。できれば、先生お一人に1台の配置をぜひともお願いできれば大変ありがたく思いますし、今教員たちはやる気になっておりますので、さらなるお願いのようで恐縮ではありますが、豊島の子供たちの学習のためにぜひお願いできればと思います。

それから別の観点から申しますと、タブレットPCが導入されたことによって、学校図書館の活用についてまた新たな視点から補充する必要があるかと思っております。それはどういうことかと申しますと、読書活動の充実はもちろんなのですが、豊島区立の学校はここを学習情報センターと位置付けてこれまでも素晴らしい改築をしてくださって、新しい学校はみんなそうっております。学習情報センターにするためには、もちろん教員もそうなのですが、やっぱりプロフェッショナルの力が必要でありまして、具体的に申し上げますと学校図書館司書でございます。もちろん配置はされているのですが、まだ制約があって日数が少のうございます。1週間に2日でございます。そこをもう少し拡充していただければ、教員がそういう方々と連携して、こんなふうに学習で使ったらどうなのだろうとか、お知恵を拝借することが出来ると思います。

それからやはり子供たちにもっと本に親しんでほしい、読書活動をしてもらいたいです。今の子供は語彙が少ないように感じます。区が実施した学力調査中の「地産地消」という言葉が漢字で書けなかったそうなんです。本当に今の子供たちの語彙の不足を感じているところなので、言語活動の充実のためにも学校図書館をもっと私は力を入れたいと感じた次第です。

2点目です。認定こども園のことでございます。

今年度は区長部局と教育委員会の連携がさらに進んで、今、幼児の育ちをどのようにしていくかということに大きな力を結集していただいていると伺いました。その一つとして認定こども園の分園型を進めるというお話も伺いました。ぜひこれを進めて頂いて、幼児としての保育と幼児教育はどのようなふうに重なり合っていくと、幼児ならではの健やか育ちになるかを研究していきたいという

ふうに感じているところです。

これまで、特に区長部局の方で保育園の事にはとりわけ力を入れてこられたというふうに伺っております。それから区立幼稚園も一生懸命やっているのですが、そこはなかなか現実難しい問題がありまして、新しいところにメスを入れるための認定こども園というふうに思います。分園型で検証しながら、私はぜひ一体型を検討していただきたいと思います。

3点目、最後でございます。SDGsの推進についてです。

このカレンダーを只今初めて拝見させていただいて、ご苦労様でございます。大変だったと思いますが、とても分かりやすいですね。子供たちがこんなことがあるんだ、こんなこと出来るんだということに気づけるのではないかと思っています。大事なのは、私自身の合言葉にもしているのですが「気づき、考え、実践する」ということだと思います。これは、青少年赤十字の合言葉でもあります。やはり気づきが思考の元になることなので、気づきの視点を色々と与えて頂けたらというふうに思います。

次代の豊島区を担うのは今の子供たちでありますから、子供たち一人一人が令和3年度は気づき、考え、実践する何かを発見して、それを実践していく年になってほしいと思います。そのためにも自分自身もそうですけど、学校教育も一つ目標を決めてやってみたいと思ったところでございます。ご説明いただいた3点につきまして意見を述べさせていただきました。ありがとうございます。

○高野区長

これまで伺ったことを踏まえて、金子教育長から、これまでのご議論を踏まえまして、何かご意見等ございましたらお願いいたします。

○金子教育長

振り返ってみると1年と少し前、感動する職ということで就任したところです。十分感動した1年でございます。前回のこの会議は7月でしたが、その時にもすでに先程から話題になっておりますタブレットPCの件は、高野区長にご英断頂いておりましたので、そこからバトンを受けまして、現場を含めて学校の方で頑張ってもらいまして、トップランナーと言われながらなんとか走っているというふうに思っております。その上でさらにこうしてほしい、こうだとい、という意見は各委員から述べられた通りだと思います。

きちんとは調べていないのですが、教員にも一人1台タブレットを配布するという話については、熊本市がすでに実施していると承知しております。先陣を切って、かなり意図的に実施したということも聞いております。もちろんお金の面もありますから、簡単ではないのですが、豊島区でもぜひご検討いただ

ければと私も思います。

図書等の話も全くその通りでございまして、高野区長も非常に本というものについては思い入れを持っていると私は思っておりますので、しっかりご意見を受け止めてやっていきたいと思っております。そして幼児教育についてですが、これについても、スキップも保育も以前担当しておりましたので、きちんとやっていきたいという強い思いでおります。

本日ご紹介したこのSDGsのカレンダーにつきまして、これは職員のお手製でございまして。ですから内容以外にもご意見があるかもしれませんが、SDGsの話を受けて、教育委員会の事務局のレベルでは、どんな喚起になっているのかと、これを見てまずはその勢いを感じて頂ければと思います。中身がどうかということについては、学校に配られた時に使用していただく中で判断されるのかと思っております。これに限らず、SDGsについてはせつかく未来都市に選ばれたわけですから、一生懸命やっていきたいと考えています。高野区長からも教育委員会が頑張ってくれよ、と言われておりますので、しっかりとやっていきたいと思っております。SDGsは10年後の目標ということを国連で決めたわけですからね。子供たちが10年後どうなっているのかということと考えますと、当然ながら全国でこれだけタブレットPCが配られましたから、デジタル世代が10年後には中堅になっていくでしょう。その人々がSDGsについてしっかりと理解しているのかいないのかで、たぶん地球環境がダメになってしまうのか、うまくいくのかが決まると思っております。あるいはコロナの対策についても、しっかり自分の頭で考えてやっていける子供たちがつくれるかどうかということではないかと思っております。

課題はいっぱいありますけれども、これでどうだろうあれでどうだろうという悩みながらの提案に対して、常々教育委員会の方々からも、後押しをいただいております。その後押しで先程話に出ました修学旅行も決まりました。私も少しは高野区長の真似をしてと思い、勇気をもって、やるかやらないかだったらやる方だと考えていますけれども、それを教育委員会のほうで待てよ、と言われたことが今まで1度もございません。頑張ってくださいということで、いつも背中を押していただけるので嬉しいと、この場を借りて御礼を申し上げたいと思っております。ありがとうございます。私からは以上でございまして。

○高野区長

各委員の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。

委員の皆様から様々なご発言、ご提案を頂きましたが、共通してお話の中心はやはり、タブレットPCの配布に関連したことでございました。

豊島区は児童生徒に一人1台の配布ということで、先陣を切って取り組んで

参りまして、非常に効果が上がっているところです。次は先生に一人1台の配布をというお話でございますが、こちらはどれぐらいの台数、予算が必要になりますでしょうか。

○庶務課長

あと、300台ほどだと考えております。

予算についてですが、1億円はいかないくらいだったと記憶しております。

○高野区長

どれぐらいかかるのか詳しい数字を出しておいてください。今日のご意見の中でそこが1番重要だと私は感じましたので、これらについては補正予算であればあげてください。

○金子教育長

必要とする700台のうち、400台程度はいただいております、数量からすると結構あるようにも見えますが、状況としては先程各委員の方からお話があったとおりです。

○高野区長

政策経営部長は、検討をよろしく申し上げます。

○高野区長

それから、学校図書館の充実に関してもご意見をいただきました。私が区長に就任した当初は、一番財政が厳しかった時期ということもございますが、予算も十分につけられない状況で、委員の皆様からも23区で一番学校図書館がお粗末だという意見もございました。今はその頃に比べると23区でも充実度は上がってきていると思います。また、子供たちにもっと本に親しんでほしいというご意見についてですが、本というのはやはり興味がないとなかなか読み込めないところがありますので、子供たちに興味をもってもらう仕掛けについて考えてもいいのかなとそんな思いもいたしました。

今、池袋を中心に豊島区は非常に大きく変わってきて、各自治体から注目されています。その中でも、SDGsの認定、あるいは消滅可能性都市から持続発展都市へ大変身したことが話題の中心でございます。また教育分野についても、児童生徒への一人1台のタブレットPCの配布など、非常に前向きに進めており、特に教育委員会はトップを走っているという思いでございますので、さらに磨きをかけて頂いて次年度も新型コロナウイルス感染症拡大に留意しつつ、児童生徒

の学びの保障と心のケア、ICT教育の環境整備を最重要の取り組みとして今後も区長部局と教育委員会が連携を図りながら、「教育都市としま」の実現に向けて、ともに頑張ってまいりたいと思います。新型コロナウイルスのワクチン接種については、「豊島区方式」として区民に寄り添った形での実施を進めておりまして、身近な医療機関での個別接種に関しては、大澤委員をはじめ、薬剤師会の皆様ともワクチンの仕分け等で連携して実施することになっております。このような社会情勢の中ですので、まだまだ色々ご意見等々あろうかと思いますが、引き続きご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

以上をもちまして、令和2年度第2回総合教育会議を終了いたします。本日はありがとうございました。